

## 大会テーマ 「質の高い乳幼児教育を担う保育者の養成を考える」

本学会は、全国の多くの方々への参加の便宜を考えて、年に1回の大会をリモートとして行うことを方針としております。本年度もそのやり方で実施する予定です。全国の多くの方々への参加の便宜を考えてのことです（もちろん、今後の状況で変更があるかもしれませんが）。

学会誌の刊行も継続的に進んできており、少しずつ本学会の使命も明確になりつつあります。本学会としてはこの学会誌と研究大会を二大柱として、また日頃の情報交換をネットで行うこと、また基本となる共同研究を学会員の創意により進め、それを学会として援助することなどを並行して行っています。

研究大会では、各会員の研究発表の場を設けます。また乳幼児教育・保育の実践及びその養成の在り方の進展を受けて、その現状と今後の報告を行うとともに、文部科学省やこども家庭庁の施策の動きについても情報提供をしたいと考えて、プログラム案を組みました。実践の現場また養成の実地において、優れた活動を進め、工夫をされている方々へ有益な情報を提供することとその工夫がどのようなものであるかの発表と情報交換を行います。

第3回大会についても会員の方々への積極的な参加をお願いします。そしてまた、身近な関係の方々へ参加を呼び掛けていただけると幸いです。リモート上になりますが、その折にお目に掛かりましょう。

理事長 無藤 隆

「第3回 日本乳幼児教育・保育者養成学会研究大会」が開催されることとなりました。大会テーマは、「質の高い乳幼児教育を担う保育者の養成を考える」です。昨年度より「幼児教育スタートプラン」が公表され、「令和の日本型学校教育」を全ての子どもに実現するための幼児教育の質的向上及び小学校教育との円滑な接続について、中央教育審議会において具体的な検討がなされてきました。さらに、「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」（令和3年12月21日閣議決定）に基づく「こども家庭庁設置法」及び「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」が通常国会で成立し、ますます子どもが健やかに成長することのできる社会の実現に向けて、乳幼児教育の重要性が高まっています。

今回の記念講演では、文科省初等中等教育局幼児教育課幼児教育調査官横山真貴子氏より架け橋期のカリキュラムについての具体的なお話が聞けることと思います。また、対談では、内閣府子ども・子育て本部上席政策調査員の馬場耕一郎氏と白梅学園大学名誉教授の無藤隆氏より「こども家庭庁」についてお話いただく予定です。養成校の先生方には、是非、最新の情報から知見を深めていただく機会にさせていただけたらと願っています。参加・研究発表申込方法等につきましては、7月中に大会 HPを開設し、8月1日より参加登録受付予定としています。学会ウェブサイト、会員メール等で告知いたしますので皆様ご参加ください。

第3回 日本乳幼児教育・保育者養成学会研究大会運営委員長 白川 佳子

# 12月11日（日）

## オンライン及びオンデマンド開催

### 10:00-16:00

10:00～10:50 開会式（大会運営委員長挨拶/来賓挨拶/理事長論説/本学会概要）

記念講演 11:00～11:50

テーマ：「幼児教育の質向上と幼保小の架け橋プログラム」  
横山真貴子氏（文科省初等中等教育局幼児教育課幼児教育調査官）

対談 12:00～12:50

テーマ：「こども家庭庁の創設とこれからの保育・幼児教育」  
馬場耕一郎氏（内閣府子ども・子育て本部教育・保育専門官/内閣官房こども家庭庁  
設立準備室室員）× 無藤隆氏（白梅学園大学名誉教授）

大会運営委員会企画シンポジウム 13:30～14:50

テーマ：「養成校からみた実践の場、実践からみた養成校、期待と課題」  
話題提供者：那須信樹氏（中村学園大学）/田代幸代氏（共立女子大学）/  
安達讓氏（認定こども園せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園園長）  
指定討論者：吉永早苗氏（東京家政学院大学）

研究発表/部会紹介 15:00～16:00

※プログラムは一部変更となる可能性もあります。

## 第2号案内

2022年度

第3回 日本乳幼児教育・保育者養成学会研究大会 開催案内

後援：保育教諭養成課程研究会

### ■大会参加費

会員 6,000円 / 非会員 6,500円

(保育教諭養成課程研究会会員の方で本学会に入会されていない方は「非会員」扱いとなります。)

※研究発表費はありません。

入会希望の方は本学会ホームページ <http://eectet.jp/> からご入会ください。

支払いは、大会ホームページ上で行い、クレジットカード決済のみです。

### ■申込手続き

「大会参加登録」から参加、研究発表申込を行います。

大会参加申込と大会参加費納入の期間については、下記申し込み手続き期間にご注意ください。

### ■大会参加・研究発表申込手続き・期間

	手続き	期間
大会参加	大会参加申込	8月1日(月)～12月11日(日) 23:59
	大会参加費納入	

	手続き	期間
研究発表	研究発表申込 (題目・要旨200字～400字)	8月1日(月)～9月30日(金)
	研究発表資料提出 PPT10枚程度をPDF化したもの	10月11日(火)～10月31日(月) ※期間厳守
	研究発表資料掲載期間	11月21日(月)～12月14日(水)
	研究発表	12月11日(日) 15:00～16:00 (研究発表者在席時間)

## 大会に関するお問い合わせ

日本乳幼児教育・保育者養成学会研究大会

東武トップツアーズ株式会社 MCC大阪事業部内

[hoyouken@tobutoptours.co.jp](mailto:hoyouken@tobutoptours.co.jp) (8月1日から対応)

#### ■研究発表の概要

- 研究発表は、大会当日ページに発表資料を公開するオンデマンド型で、質疑応答等は、在席時間中(15:00～16:00)にコメント投稿欄を用いて行います。
- 研究発表の要件は、会員であること、今年度年会費及び大会参加費を9月30日(金)までに納入済であることです。
- 筆頭者としての発表は、一人当たり2件までとします。筆頭者以外の制限はありません。
- 研究発表では、第2回大会に引き続き「コロナ禍における保育者養成校や現職者研修」に関する発表を積極的に募集します。学生への配慮・対応、メディア授業での工夫、保育実習等の工夫等、実際の事例等についてぜひご発表ください。
- 研究大会までの手続きは以下の順となります。研究発表申し込みの際には、発表者全員の今年度年会費納入状況をご確認の上、未払いのある場合は、9月30日(金)までに納入してください。

手順1.大会参加申し込み

手順2.大会参加費納入

手順3.研究発表申し込み(発表要旨原稿の投稿)

手順4.研究発表資料提出

▷手順1.大会参加申し込み 8月1日(月)～9月30日(金)  
大会ホームページの「大会参加登録」のページから申し込みをしてください。

▷手順2.大会参加費納入 8月1日(月)～9月30日(金)  
・金額 6,000円(会員)  
・支払いは大会ホームページで行い、クレジットカード決済のみの扱いとなります。

▷手順3.研究発表申し込み 8月1日(月)～9月30日(金)  
研究題目、要旨を投稿し、発表区分を選択することをもって「研究発表申し込み」となります。大会ホームページの「大会参加登録」ページに、(1)研究題目と要旨を入力し、(2)発表区分を選択してください。  
(1)研究発表の題目と要旨の執筆要項

- ①発表者の所属先は、学校名及び施設・園名・所属団体名のみ表記する。  
例)「〇〇大学」「〇〇園」
- ②題目と要旨は、英数字をすべて半角で記載する。  
例)×「2名」○「2名」
- ③要旨の字数は200字～400字とする。

※研究発表申し込み期間中は、入力内容の変更は可能ですが、申し込み期間を過ぎてから変更はできません。発表者の掲載順の変更についても同様です。上記①～③につきましては、執筆要項に合っていない場合、大会運営委員会で修正させていただきますのでご了承ください。執筆要項に合っていない場合、入力ができないことがあります。

#### (2)研究発表区分の選択

以下のa～qより、該当する発表区分を3つ選択してください。お選びいただいた発表区分を参考に、担当者が発表グループを作成いたします。

- a.保育者の研修制度、処遇改善
- b.保こ幼小の連携、地域連携、子育て支援
- c.海外の保育方法・保育の国際比較
- d.施設の安全・危機管理体制
- e.5領域、乳児保育、食育
- f.保育思想、保育理論、保育史
- g.幼児理解、発達関連
- h.保育環境(園庭を含む)、保育教材
- i.保育者の資質向上
- j.保育の質
- k.ドキュメンテーションやポートフォリオなど保育の記録方法
- l.インクルーシブ保育、特別支援教育
- m. ICTの活用
- n.実習日誌や実習指導など養成校での指導
- o.保育者養成校の学生指導(コロナ関連以外)
- p.コロナ禍における保育実践・保育者研修
- q.コロナ禍における保育者養成(授業実践)、実習指導

### ■ 研究発表の概要

▷手順4. 研究発表資料提出 10月11日(火)～10月31日(月)

(1)提出方法

大会ホームページの「大会参加登録」ページに添付して登録する。

(2)研究発表資料の執筆要項

- ①PowerPointのスライドを10枚程度（最大15枚以内・題目を含む）にまとめてPDF化する。
- ②1枚目は表紙とし、研究発表申し込み時に入力した、題目、発表者、発表者の所属を書く。
- ③大会ホームページ上に公開後、ダウンロードや印刷が可能となります。
- ④研究発表資料の著作権は、発表者にあります。